

# 事業報告書

---

## 第1期

自 平成27(2015)年10月 1日  
至 平成28(2016)年 3月31日

---

ACAS

一般社団法人新CAS協議会

# 一般社団法人 新CAS協議会

## 2015年度事業報告

【2015年10月1日～2016年3月31日】

### 1. はじめに

一般社団法人 新CAS協議会（ACAS）は、4K・8K放送時代に即したコンテンツ保護管理の在り方を検討し、その技術的な方式ならびにセキュリティ要件の管理運営の在り方を策定するという趣旨の元、2015年10月1日にスカパーJSAT株式会社、株式会社スター・チャンネル、日本放送協会、株式会社WOWOWの4社により設立された。総務省による「4K・8K推進のためのロードマップ」に沿う形で、コンテンツ保護管理に必要な新しいCASの技術・運用両面での構築を進めており、将来的に、新しいCAS運用の中核となることを目指している。

当法人は、（1）新CAS方式の検討・設計・開発、（2）新CAS方式を運用する放送事業者に対しての交渉・契約窓口、（3）新CAS方式のLSIを搭載する受信機メーカーに対しての交渉・契約窓口、（4）上記のほか当法人の目的を達成するために必要な事業、を事業内容として掲げている。

2015年度は、法人設立に伴い、主に上記各項目に関わる準備的な作業をすすめた。まずは事務所設置や各種規程規則等、法人運営に関わる基本事項の整備を行った。新CAS方式については、検討・設計・開発の支援を行った。中でも、当法人としては、新CAS方式の外部専門家による評価を重視し、セキュリティ評価委員会を開催した。その結果は報告書にまとめられ、技術運用両面での貴重な意見が得られている。関係諸団体との間では、主に法人設立について周知したほか、新CAS方式の検討経過をみながら、情報共有を図った。

当法人は、多くの視聴者が4K・8K番組を楽しめる環境の実現をめざしており、その達成には、志を同じくする幅広い分野の事業者との強固な連携が欠かせない。2015年度は、主にそのための準備を重ねてきたが、今後、こうした成果をふまえて、趣旨に賛同する事業者とともに、法人の設立趣意を達成すべく努力を重ねる所存である。

## 2. 事業報告

### 2-1 技術部

技術部では、4K・8K放送時代に即した新しいコンテンツ保護管理方式（新CAS方式）について、方式検討・設計・開発及び運用基盤構築等の業務を進めた。

#### ① 新CAS方式の開発および標準化の推進

2018年の4K・8Kの実用放送開始に向けて、高度BS放送等で利用する新たなCASモジュール（ICチップ）の提供を前提として、現行2K放送のCAS方式を強化・拡張した新CAS方式の開発を進めた。また、ARIB標準規格、NextTVフォーラム運用規定の策定への寄与を継続的に行い、関連技術の標準化を推進した。

#### ② セキュリティの維持・管理

新CAS評価委員会（第三者セキュリティ評価）を主催し、CASベンダーと連携しながら評価委員の意見・提言を評価結果報告書としてまとめた。本セキュリティ評価により、今後の方式実装および運用スキーム構築に向けての指針が示されるという成果を得た。

#### ③ テストセンター設備の準備

4K・8Kの試験放送および実用放送に向けて、新CAS方式の検証および受信機メーカー向けテストストリームの提供（2017年度を予定）等を行うために、テストセンター設備整備に着手した。

#### ④ 関係機関との情報共有

新CAS方式の適切な普及展開を目的として、関係機関との情報共有を図った。

#### ⑤ 技術委員会の運営

技術委員会の適切な運営を図り、新CAS方式に関する技術関係の情報共有を進めるとともに、技術関係業務の全体工程管理を行うなど、プロジェクト推進のための事務局機能を担った。

### 2-2 運用部

運用部では、将来的に多くの方に受け入れられる新CAS運用スキーム（運用の枠組み）をつくりあげていくための準備や検討作業をおこなってきた。

#### ① 運用スキーム構築のための議論

新CAS方式の技術的側面がかたまっていくにつれ、技術情報管理、新CASモジュール流通管理や鍵管理などの運用面でも具体的に議論を深めることが大切になる。こうした点について、新CAS方式開発ベンダーとの協議の中で、論点を整理し、建設的な議論を積み重ねた。

#### ② 諸団体との提携関係構築

当法人がめざしている、多くの視聴者が4K・8K番組を楽しめる環境の実現のためには、幅広い団体との緊密な連携が欠かせない。運用スキームにかかわることが

想定される様々な事業者と情報交換を行い、提携関係の礎を構築した。

## 2-3 渉外部

渉外部では、運用スキームの実現にむけて、技術部や運用部、総務経理部と連携しながら、放送予定事業者や受信機メーカーなどの提携相手との交渉に向けて準備を行った。

### ① 受信機メーカーへの技術情報の提供等の準備

技術部と連携し、受信機メーカーに対して、新CAS方式に対応した受信機的设计・開発・製造等に関わる技術情報の資料を作成し説明会に向けて準備を行った。また、各部・委員会と連携して、利用許諾に関わる申請受付・審査・契約にいたる適正なシステムの検討を開始した。

### ② 実用放送候補事業者等との交渉準備

4K・8K実用放送の候補事業者について、運用部と連携して、情報提供や、契約交渉に向けて準備を行った。また、総務・経理部と連携して新規会員入会の制度を整えた上で、多くの視聴者が4K・8K番組を楽しめる環境構築を目指す事業者との連携について具体的に検討を開始した。

## 2-4 総務・経理部

準備法人として、本格的な事業運営に向けて、法人運営に関わる基本事項の整備・拡充を図った。

### ① 法人ガバナンスの体制構築

一般社団法人としての透明性を確保した事業運営推進のため、設立時に各種規則・規程類を定めた上で、追加策定、改定等の準備を進めた。また、本格的な事業運営を視野に、2016年度上半期中の事務所移転を目指し、移転先の選定等を具体的に検討した。

### ② 関連会議の運営

社員総会、理事会、運営委員会等の会議の運営にあたっては、会員、委員等との密接な連携を図り、社員総会2回、理事会4回、運営委員会7回を開催した。

### ③ 適正な予算管理

予算の的確な執行が図れるよう、適切な会計処理に努めた。また、定期的に予算の執行状況の点検を実施し、効果的、効率的な事業運営に努めた。

### 3. 法人の運営

2015年度に開催された主な会議は以下の通り

区 分	回 数	開催日
社員総会	第1回（設立総会）	2015年10月1日
	第2回（臨時総会）	2016年2月24日
理 事 会	第1回	2015年10月1日
	第2回（書面）	2015年11月30日
	第3回（書面）	2016年2月10日
	第4回	2016年2月24日
運営委員会	第1回	2015年10月1日
	第2回	2015年10月22日
	第3回	2015年11月16日
	第4回	2015年12月16日
	第5回	2016年1月27日
	第6回	2016年2月17日
	第7回	2016年3月29日

※ 上記の他、運用委員会、技術委員会を毎週開催した。